祝 辞

令和七年度の職業能力開発総合高等学校の入学式に当たり、一言お祝いの御挨拶を申し上げます。

新入生の皆様、ご入学誠にめでとございます。我が国の人材開発施策において重要な役割を担う職業能力開発総合高等学校に入学されたことは、大変喜ばしく、心から歓迎いたします。また、ご家族、関係者の皆様にもお祝い申し上げます。

今日、職業生活の長期化・多様化、少子高齢化による人口動態の変化、デジタル化・脱炭素化などの社会・経済構造の変化に直面している中、我が国が発展を続けていくためには、優れた技能を持つ人材の育成がますます重要になっていきます。

政府としても、リスキリングによる能力向上支援を拡充し、希望する誰もがそれぞれの特性・強みを活かし活躍できる環境整備に取り組んでいるところです。

こうした中、働く方々一人ひとりが能力を確実に向上させていくためには、企業が求める技術水準を的確に把握し、学ばれる方々の能力や適性に応じた職業訓練をコーディネートできる人材が不可欠です。

新入生の皆様におかれては、これから、機械、電気、電子情報、そして建築のそれぞれの専攻において、実践的な学修にはげまれ、指導者にふさわしい豊富な知識と高い技術を習得されることを期待しています。

あわせて、先生方や仲間と共に過ごす中で、豊かな人間関係を築かれ、さまざまな考え方やものの見方に触れることで、将来の職業生活のよりどころとなる志を立てていただきたいと思えます。将来、我が国の基幹産業であるものづくりの現場における人材開発の指導者として活躍されることを切に願っています。

最後になりましたが、新野校長をはじめ、職業能力開発総合高等学校の職員の皆様、関係者の皆様には、入学された方々の成長に御尽力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本日、ご臨席の皆様様の益々の御健勝を祈念し、お祝いの言葉といたします。

令和七年四月四日

厚生労働大臣 福岡 資麿